

再履修についての注意事項

次のような履修を「再履修」として扱います。その際、過去にその科目を履修したことがない場合でも再履修となります。

- 1 過去に不合格になった科目を、再度履修する場合（「再受講」として区別する場合があります）
- 2 自己の学年よりも低学年に配当されている科目を履修する場合
- 3 留年歴のある学生が科目を履修する場合（すべての科目を再履修として扱います）

再履修は基本的に所属学科で正規開講されている低学年クラスを履修登録することになります。なお、他学科において自学科のカリキュラムと同名称の科目が開講されている場合がありますが、講義内容の違いにより、履修が認められない場合があります。学修要覧の説明をよく読むとともに、不明な場合は教育支援センターへ問い合わせてください。

また、科目によっては再履修者を対象としたクラスを開講している場合があります（当該科目の前に「再・」と表示）。これらの講義が開講されている場合は、基本的に正規開講クラスを履修することはできません。

再履修すべき科目がカリキュラム改訂により変更している場合は、旧科目名称の再履修クラスまたは「受講対象/再履修者科目名」欄に旧科目名称が記載されている科目を履修登録します（**p.エラー!ブックマークが定義されていません**。参照）。自己の入学年度の教育課程表に掲載されていない科目や、カリキュラム改訂により読み替えにならない新カリキュラムの科目は卒業要件に算入されません。

所属学年と再履修の必修科目が重複した場合

所属学年の必修科目と再履修の必修科目（あるいは再履修の必修科目同士）が重複している場合には、原則としてより低学年の、再履修の必修科目を優先して履修してください。この場合、履修しなかった方の科目は次年度に履修することになります。

再履修時に他学部・他学科で履修可能な科目

次に示す科目については、再履修時に限り、下表の通り他学部・他学科において履修登録することができます。なお、科目担当者の判断により受講が認められないことがあるので、受講希望者は履修登録前に担当者へ申し出てください。また、履修登録は他の科目と同様に Web にて行ってください。特別履修申告は不要です。

科目と学生の所属の組み合わせにより、他学科で再履修可能かどうか異なります。表中で「○」になっている科目と学生の所属の組み合わせの場合、開講されている全ての他学科で再履修が可能です。「※1」などと書かれている場合は、他学科での再履修が条件付きで可能です。空欄の場合は他学科で再履修することはできません。

科目	学生の所属				
	理工	建都	工	情報	知識
基礎体育(1)/(1a)(1b)	○	○	○	○	○
基礎体育(2)/(2a)(2b)	○	○	○	○	○
微分積分学(1)/(1a)(1b)	○	○	○	※1	※1
微分積分学(2)/(2a)(2b)	○	○	○	※2	※2
線形代数学(1)/(1a)(1b)	○	○	○	※1	※1
線形代数学(2)/(2a)(2b)	○	○	○	※2	※2
微分方程式論	○	○	○	○	○
ベクトル解析学	○	○	○	○	○
フーリエ解析学	○	○	○	○	○
関数論	○		○	○	○
数理統計学/(a)(b)	○	○	○		
基礎確率統計				○	○
物理学実験/(a)(b)/(1)(2)	※3	※3	※3	※3	※3
化学実験	※3	※3	※3	※3	※3
化学(1)(2)	○	○	○	○	○
情報リテラシー演習/(a)(b)	※4	※4	※4		
コンピュータ概論/(a)(b)	※5		※5	※6	※6
プログラミング基礎/(a)(b)	※4	※4	※4		
物理学及び演習(1)(2)	○	○			
再・物理学(1)(2)			※7		
物理学(3)(4)	※8		※8		
技術日本語表現技法					○
データサイエンスリテラシー(1)	○	○		○	

※1 前期のみ再履修可。

※2 後期のみ再履修可。

※3 1年生の再履修不可。

※4 自然科学科以外の学生は共通科目クラスに記載されている曜日時限でのみ再履修可。自然科学科の学生は自学科でのみ再履修可。

※5 共通科目クラスに記載されている曜日時限でのみ再履修可。

※6 情報工学部・知識工学部（自然科学科を除く）内の他学科で再履修可。

※7 工学部内の他学科で再履修可。

※8 理工学部・工学部内の他学科で再履修可。

外国語必修科目の再履修にあたっての注意

- 1 「Study Skills」及び「TOEIC Preparation」は2019年度入学生より廃止されたため、これらの科目は再履修クラスでのみ履修できます。
- 2 「Reading and Writing (1)」の開講学期は2019年度入学生より前期に変更となりました。そのため、再履修クラスも前期開講となります。後期には開講されません。
- 3 「Reading and Writing (2)」の開講学期は2019年度入学生より後期に変更となりました。そのため、再履修クラスも後期開講となります。前期には開講されません。
- 4 「Communication Skills (1)」「Communication Skills (2)」「Reading and Writing (1)(1a)(1b)」「Reading and Writing (2)(2a)(2b)」は基本的に共通科目クラスとして開講されている再履修クラスで履修することになります。クォーター制度の実施により初回授業週からの出席が不可欠となったことを受け、再履修科目の受講を希望する学生は「事前履修申請」を行う必要があります。申請手続きや結果の掲示については、ポータルサイトで確認してください。手続きに不備があった場合は、履修登録できません。「期限後の申請」と「手続きなしの履修」も、一切認められません。
 - 再履修クラスと重複している専門科目の必修を履修する場合や、再履修クラスの受講人数の関係で担当教員から指示があった場合には、正規開講クラスの履修を認めることがあります。
なお、履修登録の際は希望する曜日時限の講義選択画面で表示される「外国語必修・正規開講再履修」という講義を選択し、履修確認期間に申請した通りの科目名及びクラスで登録されているか必ず確認すること。